

iPassConnect™ 3.25 for Windows

ユーザ ガイド

iPassConnect クライアントの使用法

バージョン : 1.1

本社

iPass Inc.

3800 Bridge Parkway

Redwood Shores, CA 94065 USA

<http://www.ipass.com>

電話 : +1 650.232.4100

ファックス : +1 650.232.0227

はじめに	4
システムの必要条件.....	4
ハードウェアの必要条件.....	4
オペレーティング システムの必要条件.....	4
ワイヤレス カード.....	5
インストールの手順.....	5
iPassConnect クライアントのアンインストール.....	5
iPassConnect の設定	6
ログイン情報.....	6
ダイヤルのプロパティ.....	6
ワイヤレス接続の設定.....	7
基本的な使用方法	8
iPass ネットワークへの接続.....	8
統合ソリューション.....	9
iPass ネットワークからの切断.....	10
iPassConnect の終了.....	10
ヘルプ.....	10
拡張機能	11
スマートリダイヤル.....	11
話し中の場合の再試行.....	11
市町村レベルでの接続.....	12
お気に入り.....	12
ホーム ブロードバンド接続.....	14
通話カードの使用.....	14
POP の詳細.....	15
接続後のプログラム起動.....	15
iPassConnect の更新.....	16
システム トレイのアイコン.....	17
Windows のプリログオン.....	17

トラブルシューティング	18
全般的なトラブルシューティング ヒント.....	18
ダイヤルアップのトラブルシューティング ヒント	19
ワイヤ ブロードバンドのトラブルシューティング ヒント	22
ワイヤレス ブロードバンドのトラブルシューティング ヒント.....	22
技術サポート.....	22
接続ログ	22
バージョン情報	23

iPassConnect™ 3.25 for Windows ユーザ ガイド

IPASSCONNECT クライアントの使用方法

はじめに

iPassConnect™ 3.25 for Windows へようこそ！ iPassConnect サービス インターフェースはシンプルで使いやすいデスクトップ クライアントであり、リモート ユーザが iPass のプロバイダ グローバル ネットワークを通じてインターネットに接続することを可能にします。iPass アクセス ポイントに接続するためのポイント アンド クリック式のインターフェースを備えており、Microsoft® Windows 98 SE、ME、2000、および XP をサポートします。さらには、VPN、パーソナル ファイアウォール、または Web ブラウザといった他のプログラムを自動的に起動するように、iPassConnect クライアントをカスタマイズできます。

このガイドには、iPassConnect クライアントを使用するための手引きとしてご使用いただくことを目的として、インストール、設定、基本的な使用方法、および高度な使用方法に関する有用な情報が記載されています。

システムの必要条件

このセクションでは、ノート パソコン、オペレーティング システム、およびこれらに付帯するソフトウェアとハードウェアの必要条件について説明します。

ハードウェアの必要条件

iPassConnect 3.25 を実行するには、以下の条件を満たすシステムが必要です。

- 以下の条件を満たす IBM 互換の PC。
 - 133 MHz 以上のプロセッサ
 - 256 MB 以上のメモリ
 - 100 MB 以上のハード ディスク容量
 - TCP/IP プロトコル
 - 16-bit 以上のカラー モード
- 使用する接続タイプに応じて、少なくとも以下の接続デバイスのいずれか 1 つ。
 - ダイアルアップ接続用のモデム
 - ワイヤブロードバンド接続用のイーサネット アダプタ
 - ワイヤレスブロードバンド接続用の 802.11b ワイヤレス アダプタ
 - ISDN 接続用の ISDN ターミナル アダプタ
 - PHS 接続用の PHS 電話
 - GSM 接続用の GSM モデム

オペレーティング システムの必要条件

iPassConnect 3.25 は、以下の Microsoft Windows オペレーティング システムで使用できます。

- Windows 98 Second Edition
- Windows ME
- Windows XP
- Windows 2000

ワイヤレス カード

以下のワイヤレス カードは、iPass ネットワークに正しく接続できることがテストで確認されています。

- Cisco AIR-PCM352 (Windows XP には、Cisco Aironet 340/350 用のバージョン 7.49.0 のドライバが同梱されています。このドライバのバージョンを 8.2.3 以上に更新してください。これは、Cisco の Web サイトから入手できます)。
- Intel WPC2011BWW
- Compaq WL100
- IBM / Lucent / Orinoco PC24E-H-FC
- Netgear MA701
- Toshiba 内蔵無線 LAN

インストールの手順


ご使用のシステムが上記のシステム要件を満たしていない場合は、iPassConnect インストーラによってインストールが中止されます。また、インストール作業を行うには、システムのローカル管理者権限が必要です。

iPassConnect クライアント ソフトウェアをインストールするには：

1. 社内のイントラネットまたはサービス プロバイダの Web サイトから、ソフトウェア インストール パッケージをダウンロードします。
2. ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。
3. インストールの指示に従います。

iPassConnect クライアントのアンインストール

iPassConnect クライアントをアンインストールするには：

1. Windows のシステム トレイにあるアイコン  を右クリックし、[終了] を選択します。
2. Windows の [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントして、[コントロール パネル] をクリックします。
3. [アプリケーションの追加と削除] を選択します。
4. リストから [iPassConnect] を選択します。
5. [変更と削除] をクリックします。
6. Windows によって、iPassConnect ソフトウェアがアンインストールされます。

iPassConnect の設定

iPassConnect を使用する前に、ログイン情報や接続設定を入力し、必要に応じてパーソナル ワイヤレス ネットワークの設定を行うなど、基本的な情報をクライアントに設定する必要があります。

ログイン情報

iPassConnect には、ユーザのログイン識別情報が保存されるため、すばやく簡単にログインできます。通常は、iPassConnect を初めて使用する前に、これらの情報を入力するだけで済みます。

- iPass パスワードは、英数字 15 文字以下で設定してください。
- インターネット アクセス用と VPN アクセス用に別々の識別情報が必要かどうかについては、ヘルプ デスクに確認してください。

ログイン識別情報を設定するには：

1. [設定] メニューで、[ログイン情報] を選択します。
2. [インターネット識別情報] の下で、インターネット ユーザ名とパスワードを入力します。
3. インターネット パスワードを iPassConnect に保存したい場合は、[パスワードの保存] をオンにします。
4. 必要であれば、[部門/プロジェクト] に部門またはプロジェクトの名前を入力します。(この情報がログインに必要なかどうかをヘルプ デスクに確認してください。)
- 5a.VPN を使用して自社のリソースに接続し、VPN 識別情報がインターネット識別情報と同じである場合は、[インターネット識別情報と同じ] チェックボックスをオンにします。次に、[NT ドメイン] ボックスに NT ドメインの名前を入力し、ステップ 5 に進みます。
-または-
- 5b.VPN 識別情報がインターネット識別情報と異なる場合は、[インターネット識別情報と同じ] チェックボックスをオフにします。次に、VPN ユーザ名、NT ドメイン名、および VPN パスワードを入力します。
6. [デフォルトの国] ドロップダウン リストから、iPassConnect のメイン ダイアログ ボックスの [国] フィルタにデフォルト表示する国を選択します。
7. [OK] をクリックします。

ダイヤルのプロパティ

ダイヤルのプロパティには、外線発信を行うための番号や、キャッチホン機能を無効にするために必要な番号など、ダイヤルアップ接続に必要な情報を設定します。ダイヤルアップ ユーザ (モデム、PHS、GSM、および ISDN 接続) の場合は、ダイヤルのプロパティを正しく設定することが重要です。(DSL や Wi-Fi のようなブロードバンド接続を使用する場合は、ダイヤルのプロパティを設定する必要はありません)。

ダイヤル文字列とは、ダイヤルする電話番号に、ダイヤルのプロパティによって設定される番号を追加したものです。たとえば 555-1212 という市内番号にダイヤルするときに、外線発信を行うための 9 とキャッチホン機能を無効にするための *70 をダイヤルする必要がある場合、ダイヤル文字列は「9, *70, 555 1212」になります。アクセス ポイントが異なっていると、ダイヤルのプロパティも異なる場合があります。

ダイヤルのプロパティを設定するには：

1. [iPassConnect] ダイアログ ボックスで、[ダイヤルのプロパティ] ボタンをクリックします。
2. [全般] の下にある [外線発信番号] テキスト ボックスに、外線発信に必要なダイヤル番号 (9 など) を入力します。

3. キャッチホン機能を無効にしたい場合は、[キャッチホン機能を無効] ボックスで、ドロップダウン リストから必要な文字を選択します。
4. [ダイヤル方法] で、電話システムがトーン ダイヤルを使用するのかパルス ダイヤルを使用するのかを選択します。(ほとんどの電話システムはトーン ダイヤルを使用します)。
- 5a. 現在の所在地が接続先と同じである場合は、[現在の所在地] の下にある [同じ市内] チェックボックスをオンにし、ステップ 6 に進みます。
- または -
- 5b. 現在の所在地が接続先と異なる場合は、[現在の所在地] の下にある [同じ市内] チェックボックスをオフにします。次に:
 - [国] ドロップダウン リストから、発信元の国を選択します。
 - [市外局番] に、ダイヤルしたい市外局番を入力します。
 - [市外局番の指定方法] ドロップダウン リストで、所在地のダイヤル方法 (市外局番の前に 1 をダイヤルするなど) を反映した指定方法を選択します。
 - ステップ 6 に進みます。
6. 通話カードを使用してダイヤルする場合は、[通話カード] の下に通話カードの情報を入力します。
7. [OK] をクリックします。
8. iPassConnect のメイン ダイアログ ボックスの下部にある [ダイヤルのプロパティ] ボタンの横に、完全なダイヤル文字列が表示されます。これで接続の準備が整いました。

ワイヤレス接続の設定

コンピュータに 802.11b (Wi-Fi®) カードがインストールされており、近くに iPass 対応のワイヤレス ホットスポットがある場合、それらのホットスポットは自動検出され、電話帳内の先頭の [利用可能なワイヤレス ネットワーク] の下に表示されます。自動検出は探知と呼ばれることもあります。

iPass 対応 Wi-Fi ホットスポットの自動検出により、SSID (サービス セット識別子) や WEP (有線同等プライバシー) キーなど、すべてのワイヤレス設定が自動的に設定されます。

ただし、iPass に対応していないホーム ワイヤレス ネットワークやその他のパーソナル ワイヤレス ネットワークを使用する場合は、ワイヤレス接続を正しく設定する必要があります。[利用可能なワイヤレス ネットワーク] の下に、設定が完了したホーム ワイヤレス ネットワークまたはパーソナル ワイヤレス ネットワークの SSID が表示されます。

パーソナル ワイヤレスの設定を行うには：

1. [設定] メニューの [接続の設定] を選択します。
2. [ワイヤレス] タブをクリックします。
3. [デバイスの設定] の下の [デバイス] で、ドロップダウン リストからワイヤレス デバイスを選択します。
4. [電源モード] で、ドロップダウン リストからワイヤレス デバイスの省電力モードを選択します。
5. [パーソナル ワイヤレスの設定] の下の [SSID] に、ホーム ネットワークのサービス セット識別子を入力します。
6. ホーム ネットワークが WEP を使用している場合は、[WEP を有効にする] を選択します。そうでない場合は、[OK] をクリックしてダイアログ ボックスを閉じます。
7. [WEP キーのタイプ] で、ドロップダウン リストから WEP キーのタイプを選択します。
8. [WEP キー] に、ネットワークの WEP キーを入力します。
9. [OK] をクリックします。

基本的な使用方法

iPassConnect クライアントの基本的な用途は、iPass ネットワークへの接続です。

iPass ネットワークへの接続

基本設定が完了したら、接続の準備が整ったことになります。

iPass ネットワークに接続するには：

1a. 利用可能なワイヤレス ネットワーク：コンピュータに Wi-Fi カードがインストールされており、近くに iPass 対応のホットスポットが検出された場合、それらのホットスポットは、電話帳内の先頭の [利用可能なワイヤレス ネットワーク] の下に信号強度の順番に表示されます。ステップ 5 に進みます。

-または-

利用可能なワイヤレス ネットワークが一覧に表示されない場合は、ステップ 1b に進んで近くのアクセス ポイントを所在地で検索するか、またはステップ 1c に進んで近くのアクセス ポイントを電話番号で検索します。

1b. 所在地で検索：[所在地または電話番号で検索] の下で、使用するフィルタ基準をドロップダウン リストから選択します。各フィルタ基準により、アクセス ポイントの検索範囲が特定の所在地へ狭められます。必要に応じて、検索範囲を広げたり狭めたりできます。

たとえば、国内のすべてのアクセス ポイントを表示するには、[国] ドロップダウン リストからその国を選択します。

- 検索範囲をその国の特定の州または都道府県へ狭めるには、[州/都道府県] ドロップダウン一覧から該当する州または都道府県を選択します。(一部の国については、州または都道府県による検索は使用できません)。
- 検索を特定の市町村へさらに狭めるには、[市町村] ドロップダウン リストから市町村を選択します。
- ステップ 2 に進みます。

-または-

1c. 番号で検索：もう 1 つの方法として、米国内のアクセス ポイントを検索する場合は、[国] ドロップダウン リストから [米国] を選択することもできます。次に、[電話番号を入力] の下にある [市外局番] および [電話番号] テキスト ボックスに、所在地の市外局番と市内局番 (最初の 3 桁) を入力します。(800 を入力すると、トールフリーである 800、855、866、877、および 888 の市外局番に属する市内アクセス ポイントを検索できます)。ステップ 2 に進みます。

2. [検索] をクリックします。所在地の基準に一致するアクセス ポイントが電話帳に表示されます。

3. 電話帳内で、アクセス ポイントの数が接続タイプごとに表示されます。たとえば [モデム (25)] は、モデム接続に使用できるアクセス ポイントが 25 か所あることを示します。接続タイプの横にある右矢印 ▶ (ノージー) をクリックすると、各所在地が表示されます。

4. 接続タイプの下に展開されたリストには、一連の所在地と、各所在地にある当該タイプのアクセス ポイントの数が表示されます。たとえば、[モデム (25)] の下に [Townsville (5)] と表示されている場合は、Townsville に 5 つのモデム アクセス ポイントがあることを示しています。右矢印をクリックすると、リストがさらに展開されて各アクセス ポイントが表示されます。
5. アクセス ポイントのリストから、接続したいアクセス ポイントをクリックします。
6. [接続] をクリックします。iPass ネットワークに接続されます。

検索のヒント

- 検索条件を変更して新しいアクセス ポイントを探す場合は、[検索] をクリックすると電話帳内に表示されているアクセス ポイントが更新されます。
- 検索を最初からやり直す場合は、[クリア] をクリックし、ステップ 1 に戻ります。
- 最後に指定した検索条件は iPassConnect を終了したときに保存され、ユーザが次にクライアントを起動したときに表示されます。

統合ソリューション


iPassConnect は、仮想プライベート ネットワーク (Virtual Private Network、VPN)、パーソナルファイアウォール (Personal Firewall、PFW)、アンチウイルス ソフトウェアといったセキュリティ ソリューションと統合することができます。この統合ソリューションでは、iPassConnect がセキュリティ ソフトウェアと連携して、安全かつセキュアなインターネット接続を実現します。

- オートコネクト統合：オートコネクト統合では、iPassConnect アイコンをクリックすると、インターネットに接続した時点でセキュリティ ソリューションも起動します。ユーザ側で操作する必要はありません。
- オートローンチ統合：オートローンチ統合では、インターネットに接続後、iPassConnect によって統合セキュリティ ソフトウェアが自動的に起動されます。ただし、iPass ネットワークへの接続に使用する識別情報に加えて、別のユーザ名およびパスワードの入力が必要になる場合があります。一般に VPN と組み合わせて使用する場合、VPN 識別情報は、[ログイン情報] ダイアログ ボックスで設定できます。
- オートティアダウン：オートティアダウン機能により、セキュリティ ソリューションが終了した場合にインターネット接続も自動的に安全に閉じられます。たとえば、パーソナルファイアウォールの機能が停止した場合、iPassConnect は自動的に切断されます。
- ホーム ブロードバンド：ケーブル モデムや DSLなどを介してすでにインターネットに接続しているホーム ブロードバンド ユーザは、iPassConnect を使用してインターネット接続上に統合ソリューションを起動できます。

iPassConnect をセキュリティ ソリューションと統合する設定方法の詳細については、ヘルプ デスクにお問い合わせください。

iPass ネットワークからの切断


iPass ネットワークから切断するには：

1. Windows のシステム トレイで、iPassConnect のアイコン  を右クリックします。
2. [切断] を選択します。iPass ネットワークから切断されます。iPassConnect は Windows のシステム トレイで実行中の状態です。
3. もう一つの方法として、[切断して終了] を選択すると、iPass ネットワークから切断され、アプリケーションは終了されます。

iPass ネットワークから切断しても iPassConnect クライアントはバックグラウンドで常駐しているので、Windows のシステム トレイを使用してクライアントにアクセスできます。

iPassConnect の終了

iPassConnect を終了するには：

1. Windows のシステム トレイで、iPassConnect のアイコン  を右クリックします。
2. [終了] を選択します。

ヘルプ

iPassConnect のヘルプを参照するには、F1 キーを押すか、または [ヘルプ] メニューの [ヘルプのトピック] を選択します。

拡張機能

iPassConnect クライアントには、接続をすばやく簡単に行うために役立つ様々な拡張機能があります。

スマートリダイヤル

ダイヤルアップ (モデム、PHS、GSM、または ISDN) 接続にスマートリダイヤル機能を使用すると、クライアントは、接続に成功するまで同じ市内のすべてのアクセス ポイントに自動的にダイヤルし続けます。

スマートリダイヤル機能を有効にするには：

1. [設定] メニューの [接続の設定] を選択します。
2. 接続タイプに応じて、[ダイヤルアップ] タブ (モデム、PHS、または GSM 接続の場合)、または [ISDN] タブ (ISDN 接続の場合) を選択します。
3. [再試行の設定] の下にある [スマートリダイヤル] チェックボックスをオンにします。
4. [OK] をクリックします。

ほとんどの場合、スマートリダイヤルはデフォルトでオンになります。可能な場合にはスマートリダイヤルをオンにして、ダイヤルアップ接続の操作を簡単にするをお勧めします。

話し中の場合の再試行

ダイヤルアップ (モデム、PHS、GSM、または ISDN) 接続に使用される話し中の場合の再試行機能では、接続に失敗したときに、話し中だったアクセス ポイントに再度ダイヤルするように設定できます。この機能は、お気に入り指定したアクセス ポイントを使用するとき、またはアクセス ポイントが少ないためにインターネットトラフィックが多い場合に便利です。

クライアントで話し中の場合の再試行の設定をするには：

1. [設定] メニューの [接続の設定] を選択します。
2. 接続タイプに応じて、[ダイヤルアップ] タブ (モデム、GSM、および PHS 接続の場合) または [ISDN] タブ (ISDN 接続の場合) を選択します。
3. [再試行の設定] の下で、[ダイヤル試行回数] テキスト ボックスに接続試行の回数を入力します。
4. [ダイヤル後に接続完了を待つ時間] テキスト ボックスで、ダイヤル間の待ち時間を秒単位で指定します。ここでは、各ダイヤル試行の完了までにかかる時間を見込んで 120 秒以上の値を設定します。
5. [OK] をクリックします。

スマートリダイヤル機能は、クライアントが、接続試行に失敗したときに次のアクセス ポイントに進むので、この話し中の場合の再試行機能とは矛盾することがあります。可能な場合には、信頼性を高めるために、スマートリダイヤルを優先させてください。

市町村レベルでの接続

ダイヤルアップ接続 (モデム、PHS、GSM、または ISDN) を使用する場合、iPass ネットワークに接続するために個々のアクセス ポイントを選択する必要はありません。その代わりに、接続に成功するまで、自動的に市町村内の一連のアクセス ポイントへ順番に接続を試みることができます。これが役立つのは、特定のアクセス ポイントを指定する必要がなく、単に近くのアクセス ポイントに接続したい場合です。

ダイヤルのプロパティには、市町村レベルの接続も設定できます。詳細については、6 ページの「ダイヤルのプロパティ」を参照してください。

市町村レベルで接続するには：


1. 通常どおり、所在地か電話番号でアクセス ポイントを選択します。
2. [モデム]、[PHS]、[GSM] または [ISDN] の下で、接続したい市町村名をダブルクリックします。iPassConnect によって、その市町村内の最適なアクセス ポイントにダイヤルが試行されます。
3. スマートリダイヤルがオンになっているときに、最初のアクセス ポイントへの接続に失敗すると、クライアントは接続に成功するまでその市町村内の他のアクセス ポイントにダイヤルします。スマートリダイヤルがオンになっていないときに接続に失敗すると、クライアントは 11 ページの「話し中の場合の再試行」に記載されている設定に基づいて、最初のアクセス ポイントに再度ダイヤルします。

企業によっては、個々のアクセス ポイントへのダイヤルを無効にし、市町村レベルのダイヤルのみを有効にしています。詳細については、ヘルプ デスクに連絡して確認してください。

お気に入り


[お気に入り] メニューでは、頻繁に使用するアクセス ポイントの接続情報を、簡単に保存および再使用できます。

アクセス ポイントをお気に入りに追加するには：

1. 通常どおり、アクセス ポイントを選択します。
2. アクセス ポイントを選択したら、[お気に入りに追加] ボタンをクリックします。
3. [お気に入りに追加] ダイアログ ボックスで、お気に入りの名前やその他のデータなど、お気に入りの詳細を入力します。お気に入りに追加したアクセス ポイントのダイヤルのプロパティを入力することもできます。
4. [OK] をクリックします。電話帳では、 というリボン記号によって、アクセス ポイントがお気に入りに追加されたことが示されます。

ダイヤルアップ接続の場合、個々のアクセス ポイントをお気に入りに追加できるだけでなく、市町村内のすべてのダイヤルアップ用アクセス ポイントをお気に入りに追加できます。これにより、その市町村への接続には、このお気に入りを使用することができます。詳細については、12 ページの「市町村レベルでの接続」を参照してください。

市町村をお気に入りに追加するには (モデム、**PHS**、**GSM**、および **ISDN** 接続のみ) :

1. 通常どおり、国と市町村を選択します。
2. [モデム]、[ISDN]、[GSM] または [PHS] の下で市町村の名前をクリックし、[お気に入りに追加] ボタンをクリックします。
3. [お気に入りに追加] ダイアログ ボックスで、お気に入りの名前やその他のデータなど、お気に入りの詳細を入力します。お気に入りに追加する接続のダイヤルのプロパティを入力することもできます。
4. [OK] をクリックします。電話帳内で、 というリボン記号によって、市町村がお気に入りに追加されたことが示されます。

既存のお気に入りを使用して接続するには :

1. [お気に入り] メニューで、使用したいアクセス ポイントを選択します。
2. お気に入りが単一のアクセス ポイントである場合、iPassConnect はそのアクセス ポイントへの接続を試みます。お気に入りが市町村である場合、iPassConnect は接続が確立されるまで、その市町村内のすべてのダイヤルアップ用アクセス ポイントにダイヤルします。詳細については、12 ページの「市町村レベルでの接続」を参照してください。

iPass ネットワークは常に成長し続けているため、すでに廃止されたアクセス ポイントがお気に入りに表示されていることがあります。お気に入りに表示されている無効になったアクセス ポイントに接続を試行すると、iPassConnect はその所在地と同じ所在地および接続タイプのアクセス ポイントを探し、接続できるようにします。このとき、新しいアクセス ポイントを固定的なお気に入りとして古いものと置き換えることができます。

お気に入りを修正するには :

1. [お気に入り] メニューで、[お気に入りの編集] をクリックします。
2. [お気に入りの編集] ダイアログ ボックスで、編集したいお気に入りを選択し、[修正] をクリックします。
3. [お気に入りの修正] ダイアログ ボックスで、必要に応じて新規情報や改訂情報を入力します。
4. [OK] をクリックし、次に [お気に入りの編集] ダイアログ ボックスで [OK] をクリックします。

お気に入りを削除するには :

1. [お気に入り] メニューで、[お気に入りの編集] をクリックします。
2. [お気に入りの編集] ダイアログ ボックスで、削除したいお気に入りを選択し、[削除] をクリックします。
3. [はい] をクリックして削除を確認します。
4. [お気に入りの編集] ダイアログ ボックスで、[OK] をクリックします。

ホーム ブロードバンド接続

iPassConnect を使用すると、DSL や ケーブル モデムなど、既存の有線ブロードバンドインターネット接続を利用して iPass ネットワークに接続することができます。この場合は、ブロードバンド接続がすでに確立されているため、iPassConnect はインターネットに接続しません。ただし、iPassConnect によって、VPN やパーソナル ファイアウォールなどのその他の統合アプリケーションが起動されます。これにより、社内リソースに対して安全に接続することが可能になります。

この接続形態はホーム ブロードバンド接続とも呼ばれていますが、オフィスの LAN 接続など、既存のインターネット接続もその範疇に含まれます。

ホーム ブロードバンドを使用して接続するには：

1. 利用している有線ブロードバンド接続がすでにインターネットに接続しているか確認します。
2. コンピュータを有線ブロードバンド接続 (DSL モデムなど) に接続します。手順については、ブロードバンド接続のマニュアルを参照してください。
3. iPassConnect を起動します。
4. 電話帳内で、[ホーム ブロードバンド] の [既存のインターネット接続を使用] をクリックします。
5. 通常の手順で、iPass ネットワークにログインします。iPassConnect によって、VPN と iPassConnect に統合されているアプリケーションが起動されます。

ホーム ブロードバンド接続を切断するには、システム トレイにあるアイコンを右クリックし、[切断] を選択します。

通話カードの使用

ダイヤルアップ接続に通話カードを使用する場合は、単一の通話カードの情報を iPassConnect に保存できます。

通話カードの情報を保存するには：

1. iPassConnect のメイン ダイアログ ボックスで、通常どおりアクセス ポイントを指定し、[ダイヤルのプロパティ] をクリックします。
2. [通話カード] の下で、[通話カードの使用] チェックボックスをオンにします。
3. [通話カード] ボタンをクリックします。
4. [通話カード] ダイアログ ボックスの [ダイヤルの方法] テキスト ボックスに、通話カードでダイヤルする電話番号と、この表に示された適切なコード記号を入力します。通話カードに記されている形式に従っている限り、任意に記号と数字を組み合わせて入力できます。たとえば、通話カードに、「1 800 555 5050 + PIN + 市外局番 + 電話番号の順にダイヤルする」と記載されている場合、ダイヤルの方法は、「1 800 555 5050 HFG」です。注意：iPassConnect で使用可能な記号の一覧を表示するには、[記号] ボタンをクリックします。

記号	意味
E	国番号
F	市外局番
G	電話番号
H	通話カードの PIN (暗証番号)
P	パルス方式でダイヤルする
T	トーン方式でダイヤルする
W	二次発信音を待つ
,	ポーズ (約 1 秒間)
!	フラッシュ
@	無音状態を待つ
\$	通話カードの入力待ち信号音を待つ
?	ユーザ入力を待つ

5. [PIN] に、通話カードの個人 ID 番号を入力します。
6. [OK] をクリックします。


POP の詳細

POP (Point of Presence) は、アクセス ポイントを表す別の用語です。表示できる POP の詳細には、以下のものがあります。

- **ロケーション** : POP の所在地です。
- **住所** : サイトの住所です。
- **電話番号** : サイトと通信するための電話番号です。
- **最大速度** : ダイヤルアップ POP の場合。
- **接続料金** : 分かっている場合、時間あたりの接続料金です。
- **POP タイプ** : このアクセス ポイントで可能な接続タイプです。
- **SSID (サービス セット 識別子)** : ワイヤレス ブロードバンド POP の場合。
- **信号強度** : ワイヤレス ブロードバンド POP の場合。

POP に関して表示される情報は、電話帳とアクセス ポイントのタイプにより異なることに注意してください。

POP の詳細を表示するには :

1. 通常どおり、アクセス ポイントを検索します。
2. 電話帳内の、その POP に属する行の [情報] 列で、 アイコンをクリックします。
3. 完了したら、[OK] をクリックします。

接続後のプログラム起動

iPass ネットワークへ接続した後に自動的に他のプログラムを起動するように、iPassConnect を設定できます。たとえば、Web ブラウザやその他のプログラム (VPN クライアント やパーソナルファイアウォールなど) を起動一覧に追加することにより、それらのプログラムを起動できます。

接続後にコンピュータのデフォルトの Web ブラウザを起動するようにクライアントを設定するには :

1. [設定] メニューの [接続の設定] を選択します。
2. [全般] タブをクリックします。
3. [接続後] の下で、[標準の Web ブラウザ] チェックボックスをオンにします。
4. [OK] をクリックします。

接続後にほかのプログラムを起動するように iPassConnect クライアントを設定するには :

1. [設定] メニューの [接続の設定] を選択します。
2. [全般] タブをクリックします。
3. [接続後] の下の [プログラムの起動] で、[追加] をクリックします。
4. [接続完了後プログラムの追加/編集] ダイアログ ボックスの [所在地] の下で [ブラウザ] をクリックします。
5. 接続完了後に起動するプログラムへブラウズし、[開く] をクリックします。
6. [説明] フィールドに実行するプログラムの説明を入力します。たとえば、接続後に電子メールプログラムを起動する場合は、「My E-mail」と入力します。
7. その他のプログラムを起動したい場合は、以下のステップ 3 ~ 6 に従って希望のプログラムを一覧に追加していきます (必要に応じて、後でプログラムを追加することもできます)。
8. 完了したら、[OK] をクリックします。

起動するプログラムの一覧内のエントリーを修正するには：

1. [設定] メニューの [接続の設定] を選択します。
2. [全般] タブをクリックします。
3. [接続後] の下の [プログラムの起動] で、変更したいプログラムの名前を選択し、[修正] をクリックします。
4. [接続完了後プログラムの追加/編集] ダイアログ ボックスで、訂正した説明を入力するか、またはプログラムの新しい場所へブラウズします。
5. [OK] をクリックします。

一覧からプログラムを削除するには：

1. [設定] メニューの [接続の設定] を選択します。
2. [全般] タブをクリックします。
3. [接続後] の下の [プログラムの起動] で、自動的に起動するプログラムの一覧から削除するプログラムを選択します。
4. [削除] をクリックします。(この手順でプログラムがコンピュータから削除されることはありません。自動的に起動するプログラムの一覧から削除されるだけです)。
5. [OK] をクリックします。

iPassConnect の更新


iPassConnect を手動で更新することにより、最新の電話帳とソフトウェアを入手できます。更新を行うには、インターネットに接続する必要があります。更新が完了したら、変更内容を反映させるために、iPassConnect を再起動する必要があります。


iPassConnect ソフトウェアまたは電話帳を更新するには：

1. iPassConnect を使用してインターネットに接続します。
2. [設定] メニューで、[ソフトウェアの更新] を選択します。[ソフトウェアの更新] の横に、その項目が最後に更新された日時が表示されます。たとえば、[ソフトウェア更新 (Thu Feb 13 2004 09:00:00)] は、前回の更新が 2004 年 2 月 13 日 (木) の午前 9 時に行われたことを示しています。
3. iPassConnect は更新サーバに問い合わせ、最新の更新をダウンロードしてインストールします。
4. 画面の指示に従って、更新ソフトウェアをインストールします。

自動更新： iPassConnect は、利用可能な更新があるかどうか一定の間隔で自動的に確認します。利用可能な更新がある場合、その更新をダウンロードしてインストールするように求められます。最大 15 日間、更新を保留することも選択できます。

システム トレイのアイコン

以下の操作を行うには...	 アイコンを右クリックし、以下を選択
iPassConnect を開く (接続されていない場合)	[iPassConnect を開く]
iPassConnect を終了する	[終了]
iPass ネットワークへ接続する	[接続]
お気に入りに接続する	お気に入りの名前
iPassConnect を更新する	[更新]
iPass ネットワークから切断する	[切断]
iPass ネットワークから切断してアプリケーションを終了する	[切断して終了]

iPassConnect が実行されているときは、Windows タスクバーの右側のシステム トレイに iPassConnect アイコン  が表示されます。このアイコンを使用して、プログラムの様々な機能を実行できます。

Windows のプリログオン

プリログオン機能が有効になっている場合、iPassConnect は通常の Windows ログオンに取って代わります。ご使用の環境で Windows プリログオンが有効になっているかどうかについては、ヘルプデスクに確認してください。

iPassConnect を使用してコンピュータにログインするには：

1. Windows ログオン画面で、iPassConnect のユーザ名とパスワードを入力します。
2. [iPassConnect を使用してログイン] チェックボックスをオンにします。
3. [OK] をクリックします。これにより、ユーザがローカル マシンにログオンする前に iPassConnect が iPass ネットワークにログインし、インターネットに接続します。

この機能を有効にする場合は、iPassConnect ログイン識別情報 (ユーザ名とパスワード) が Windows ログイン識別情報と一致する必要があります。iPass パスワードは、16 文字以下で設定する必要があることに注意してください。

トラブルシューティング

iPass ネットワークへの接続に関する問題が発生した場合は、以下のトラブルシューティング ヒントを参考にして問題を解決してください。これらのヒントは、あくまで参考としてご使用ください。これらのヒントで問題が解決しない場合は、ヘルプ デスクにお問い合わせください。

全般的なトラブルシューティング ヒント

以下のヒントは、iPassConnect を使用した接続全般に適用されます。

アクセス ポイントへの接続が困難

- 接続の経路先にしているアクセス ポイントが無効になっているか、一時的に利用できなくなっている可能性があります。同じ市内の別のアクセス ポイントにダイヤルしてみてください。
- 電話帳を更新しても、お気に入りには更新されません。すでに無効になったアクセス ポイントを使用している可能性があります。この場合は、クライアントで電話帳を更新するか、または新しいアクセス ポイントを選択します。
- ダイアルのプロパティが正しく入力されていることを確認します。前回 iPassConnect を使用したときは異なる場所から接続しようとしている場合は、設定を変更しなければならないことがあります。
- 選択したアクセス タイプに合ったハードウェアを使用していることを確認します。たとえば、ワイヤレス アクセス ポイントにアクセスするには、ワイヤレス イーサネット カードを使用する必要があります。

所在地内にアクセス ポイントがない

- 探している市町村が電話帳に載っていないこともあります。しかし、市内通話扱いのアクセス ポイントや近隣の市町村のアクセス ポイントがある可能性があります。
- 可能な場合は、ほかのアクセス ポイントで接続してください。たとえば、市内でブロードバンドにアクセスできないブロードバンド ユーザは、市内のダイヤルアップ接続を探してみてください。
- 米国内にいる場合は、同じ市外局番の別の都市 (市内通話扱い) があるかどうか確認してください。
- 一部の国では、全国統一料金またはトールフリーが実施されています。いずれも市内電話ではありません。全国統一料金のアクセス ポイントは市内料金であるため、通常は比較的安くなっています。トールフリーのアクセス ポイントは市内通話ではなく、一般に、通常よりも高い接続料金をユーザまたはユーザの会社に請求します。米国内では、[番号で検索] に 800 を入力すると、トールフリーである 800、855、866、877、および 888 の市外局番に属するアクセス ポイントが一覧表示されます。
- 市外のアクセス ポイントについては、市内のオペレータに国内料金を確認してください。多くの国では、国内の長距離通話料金が非常に安くなっています。

不正なパスワード

- ユーザ名、ドメイン名、およびパスワードを再入力します。
- パスワードを入力する際は、大文字と小文字が区別されます。CAPS LOCK キーが押されていないことを確認してください。
- [ログイン情報] の [ドメイン] フィールドに、「domain.com」などのドメイン名が入力されていることを確認します。注意：前バージョンの iPass クライアントのように、「@」記号を付ける必要はありません。
- プロバイダや社内の認証サーバまたは iPass RoamServer がダウンしているか、オフラインになっている可能性があります。ヘルプ デスクに連絡して確認してください。

- 使用しているユーザ アカウントが無効になっている可能性があります。ヘルプ デスクに連絡して確認してください。
- 接続の経路先にしているアクセス ポイントが無効になっているか、一時的に利用できなくなっている可能性があります。同じ市内の別のアクセス ポイントにダイヤルしてみてください。iPass ネットワークでは、世界中の都市に複数のアクセス ポイントが用意されています。

パスワード認証が遅い

- 一部の地域では、接続に 120 秒以上を要することがあります。すぐに [キャンセル] ボタンをクリックしないでください。
- 一般に、ホームから離れているほど認証プロセスに時間を要します。[設定] メニューの [接続の設定] を選択し、[ダイヤルアップ] タブをクリックしてください。[ダイヤル後に接続完了を待つ時間] が 120 秒に設定されていることを確認します。それでも正しく認証が行われない場合は、この時間を最長 180 秒まで設定してみてください。
- プロバイダや社内の認証サーバまたは iPass RoamServer がダウンしているか、オフラインになっている可能性があります。ヘルプ デスクに連絡して確認してください。

Windows プリログオンに関する問題の解決

- システムにログオンできる場合は、regedit を使用して以下の値をレジストリから削除します。
`\HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\Microsoft\Windows NT\CurrentVersion\Winlogon\GinaDLL`
- 問題解決のためにログオンできない場合は、以下の方法を試してください。
 - 対象マシンがネットワーク上にあり、そのマシンの管理権限を持っている状態で、別のマシンのアカウントがある場合は、リモートから `regedt32` を使用して対象マシンのレジストリを開き、GinaDLL 値を削除します。
 - 対象マシンがネットワーク上にあり、そのマシン (この例では、`\\<name>\c$`) の `%systemroot%\SYSTEM32` をネットワーク上で共有できる場合は、以下のようなコマンドを使用して `IPGina.dll` を別の名前にリネームします。
`ren \\<name>\c$\winnt351\system32\IPGina.dll gina.sdk`
 - 対象マシンを再起動します。
 - レジストリから、GinaDLL 値を削除します。
 - 対象マシンにデュアル ブート用として別のバージョンの Windows NT またはその他のオペレーティング システムがインストールされており、そこから `%systemroot%\system32` にアクセス可能である場合は、
`%systemroot%\system32\Gina.dll` を削除して再起動し、次にレジストリから GinaDLL 値を削除します。
- これらの情報を参考にしても問題が解決しない場合は、以下の URL を参照してください。
<http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;EN-US;302346>

ダイヤルアップのトラブルシューティング ヒント

以下のヒントは、ダイヤルアップ (モデム、PHS、GSM、および ISDN) 接続に適用されます。

アクセス ポイントへの接続が困難

- ダイヤルのプロパティ で、必要な外線発信番号と市内ダイヤル番号が設定されていることを確認します。多くのホテルでは、外線発信を行うときに追加の文字をダイヤルする必要があります。
- 電話をとって手でアクセス ポイントの電話番号をダイヤルします。問題を説明するメッセージが流れる場合があります。たとえば、ホテルのスイッチボードがオーバーロードしていたり、外線発信番号の 9 をダイヤルする必要があるなどの可能性があります。

- 接続の経路先に行っているアクセス ポイントが無効になっているか、一時的に利用できなくなっている可能性があります。同じ市内の別のアクセス ポイントにダイヤルしてみてください。iPass サービスでは、企業の多い地域に複数のアクセス ポイントが用意されています。
- すでに無効になったアクセス ポイントに接続を試みている可能性があります。新しいアクセス ポイントを選択してみてください。
- ダイアルのプロパティが正しく入力されていることを確認します。前回クライアントを使用したときと違う場所から接続しようとしている場合は、設定の変更が必要になることがあります。
- 番号を覚えている場合でも、手動でメイン ダイアログ ボックスにアクセス ポイントの電話番号を入力しないでください。必ず、このヘルプ ファイルに記載されている手順に従って接続してください。

発信音が聞こえない

- 電話を接続してダイヤルする方法で、電話回線に問題がないか確認します。
- 電話線 (モジュラー ケーブル) がコンピュータと電話ジャックにしっかり接続されているか確認します。
- 電話回線が、適切な PC カードの挿入ジャックに接続されているか確認します。
- スピーカの音量が上がっているか確認します。
- モデムが発信音を認識していない可能性があります。ダイヤルしたときに発信音を検出しないように、Windows ソフトウェアを再設定する必要があるかもしれません。詳細については、Windows のヘルプ ファイルを参照してください。

モデムが見つからない/モデム音が聞こえない

- コンピュータにモデムをインストールしていることを確認します。モデムがない場合は、インストールが必要です。
- 複数のモデムをインストールしている場合は、正しいモデムに接続していることを確認します。
- 電話を接続してダイヤルする方法で、電話回線に問題がないか確認します。
- 電話線 (モジュラー ケーブル) がコンピュータと電話ジャックにしっかり接続されているか確認します。
- 電話回線が、適切な PC カードの挿入ジャックに接続されているか確認します。
- 市内の電話システムが (アナログ方式に対する意味で) デジタル方式の場合は、接続用の特別なアダプタが必要になることがあります。ファックス回線へのアクセスを要求することもできます。ファックスはアナログです。
- ダイアルのプロパティが正しく入力されていることを確認します。前回クライアントを使用したときと違う場所から接続しようとしている場合は、設定の変更が必要になることがあります。[選択したアクセス ポイントと同じ市内] チェックボックスをオンにし (またはオフにし)、再度接続を試みます。
- モデムの音が聞こえない場合は、スピーカの音量がオフまたは使用不能になっていないか確認します。
- モデムが発信音を認識していない可能性があります。ダイヤルしたときに発信音を検出しないように、Windows ソフトウェアを再設定する必要があるかもしれません。詳細については、Windows のヘルプ ファイルを参照してください。

モデムの音が大きすぎる/止まらない

- 電話回線が、他で使用中にはないことを確認します。
- モデムの音量設定が大きすぎる可能性があります。コンピュータとモデムの両方または一方の音量を下げます。
- モデムが通信の同調に失敗しているか、互換性がない場合は、手動でモデムを設定し直す必要があります。モデムに付属のマニュアルを参照するか、ヘルプ デスクにお問い合わせください。

回線が話し中

- 接続の経路先に行っているアクセス ポイントが無効になっているか、一時的に利用できなくなっている可能性があります。同じ市内の別のアクセス ポイントにダイヤルしてみてください。iPass サービスでは、企業の多い地域に複数のアクセス ポイントが用意されています。
- すでに無効になったアクセス ポイントを使用している可能性があります。クライアントの電話帳を更新するか、または新しいアクセス ポイントを選択してみてください。
- 電話をとって手動でアクセス ポイントをダイヤルします。問題を説明するメッセージが流れる場合があります。たとえば、ホテルのスイッチボード システムがオーバーロードしていたり、外線発信番号の 9 をダイヤルする必要があるなどの可能性があります。
- モデムが発信音、話し中の信号音、またはその両方を認識していない可能性があります。ダイヤルしたときに発信音を検出しないように、Windows ソフトウェアを再設定する必要があるかもしれません。Windows のヘルプ ファイルを参照してください。

応答がない/人の声で応答がある

- 接続の経路先に行っているアクセス ポイントが無効になっているか、一時的に利用できなくなっている可能性があります。同じ市内の別のアクセス ポイントにダイヤルしてみてください。iPass サービスでは、世界中に複数のアクセス ポイントが用意されています。
- 無効になったお気に入りを使用している可能性があります。新しいアクセス ポイントを選択してみてください。
- ダイヤルのプロパティが正しく入力されていることを確認します。前回クライアントを使用したときと違う場所から接続しようとしている場合は、設定の変更が必要になることがあります。

セッションの途中で接続が中断される/切断される

- 突然の切断は、電磁波障害 (Electro Magnetic Interference、EMI)、回線のノイズ、またはトラフィックの輻輳が原因である場合があります。アクセス ポイントに再接続してみてください。
- インターネットに接続したまま使用していない場合に自動的に切断するように、iPassConnect ソフトウェアが設定されている可能性があります。ヘルプ デスクにお問い合わせください。

Web ページへのアクセスが遅い

- 低速な Web アクセスは、EMI、回線のノイズ、またはインターネットの輻輳が原因である場合があります。アクセス ポイントに再接続してみてください。

ワイヤブロードバンドのトラブルシューティング ヒント

このアドバイスは、ワイヤブロードバンド接続に適用されます。

iPassConnect を使用してログインできない

- **iPassConnect** を使用してログインに成功したことがない場合は、アカウントが有効でないか、ローミングに対応していない可能性があります。自社の手順に従ってアカウントの状況を確認するか、自社の **iPass** 管理者に詳細を問い合わせてください。
- イーサネット ケーブルがコンピュータと壁面ジャックにしっかり接続されているか確認します。
- ほとんどのイーサネット カードはケーブル コネクタに付けられた **LED** によって、イーサネット接続が有効かどうかを示されています。LED が点灯していることを確認してください。

ワイヤレスブロードバンドのトラブルシューティング ヒント

このアドバイスは、ワイヤレスブロードバンド接続に適用されます。

iPassConnect を使用してログインできない

- **iPassConnect** を使用してログインに成功したことがない場合は、アカウントが有効でないか、ローミングに対応していない可能性があります。自社の手順に従ってアカウントの状況を確認するか、自社の **iPass** 管理者に詳細を問い合わせてください。
- **802.11b** ワイヤレス アダプタが正しくインストールされていることを確認します。必要な場合は、アダプタのマニュアルを参照します。
- 壁や柱などの障害物に妨害されていないことを確認します。
- **Windows** システム トレイに通常置かれているリンク状況メータをチェックして、信号強度と品質が **50%** 以上であることを確認します。アイコンの上にマウス ポインタを移動すると、リンク状況が表示されます。

技術サポート

iPassConnect の技術サポートへの連絡方法 :

1. [ヘルプ] メニューで、[技術サポート] を選択します。
2. ダイアログ ボックスに、自社のヘルプ デスクの連絡先情報が表示されます。
3. [OK] をクリックして閉じます。

接続ログ

接続ログには、接続に成功したものも失敗したものも含めて、過去の接続履歴が表示されます。この情報はアクセスに関する問題を診断する際に役立ちます。

接続ログを表示するには :

1. 接続ログを表示するには、[ヘルプ] メニューで [接続ログ] を選択します。
2. 接続ログが表示されます。
3. [OK] をクリックして閉じます。

バージョン情報

[バージョン情報] ダイアログ ボックスには、iPassConnect クライアントの詳細が表示されます。この情報は、技術サポートを受けるときに必要になることがあります。以下の情報が表示されます。

- バージョン：ソフトウェアのバージョン番号
- 設定：プロファイル番号と電話帳番号
- 著作権
- 電話帳の更新：POP の一覧が最後に更新された日付を表示します。
- ソフトウェアの更新：クライアント ソフトウェアと関連の設定ファイルが最後に更新された日付を表示します。

[バージョン情報] ダイアログ ボックスを表示するには：

1. [ヘルプ] メニューで、[バージョン情報] をクリックします。
2. 完了したら、[OK] をクリックします。

iPass は、世界中のあらゆる場所で信頼性の高い安全なインターネット接続を提供するために努力を重ねています。このガイドをお読みになった後で、新しいクライアント ソフトウェアのインストールまたは操作に関して不明な点がある場合は、ヘルプ デスクにお問い合わせください。

この製品には、OpenSSL Project によって OpenSSL Toolkit 用に開発されたソフトウェアが含まれています。
(<http://www.openssl.org/>)

iPass について

iPass Inc. (www.ipass.com) は、企業の社員が世界中のあらゆる場所から仮想的に社内ネットワークの情報やアプリケーションに安全にアクセスできることを目的に設計された、ソフトウェア対応のエンタープライズ接続サービスを提供しています。仮想ネットワークオペレータ (VNO) としての iPass は、世界中のホテルや会議場で使用されているワイヤブロードバンドサービス、およびワイヤレスブロードバンドサービスなど、インターネットプロトコルに基づいた各種の接続技術を提供します。iPassConnect™ のスマートクライアントは、企業内の複数のコンピュータデバイス、およびオペレーティングシステムに容易に導入できます。導入が完了すると、iPass サービスはネットワークリソースへのアクセス方法に関するすべての管理を、その企業のIT部門に委譲します。iPass は、1996年に創立されました。本社の所在地は、カリフォルニア州の Redwood Shores であり、北米、ヨーロッパ、およびアジア太平洋地域の全域に支社があります。

本社
iPass Inc.
3800 Bridge Parkway
Redwood Shores, CA 94065
米国
電話：+1 650.232.4100
ファックス：+1 650.232.4111
www.ipass.com

オーストラリア
iPass Holdings Pty Ltd.
Level 1, 80 Waterloo Road
Macquarie Park, NSW 2113
Australia
電話：+612 8876.8700
ファックス：+612 8876 8777

英国
iPass (U.K.) Limited
139 Piccadilly
London W1J 7NU
英国
電話：+44 20.7317.4400
ファックス：+44 20.7317.4450

香港
iPass Asia Pte Ltd.
3802A, Lippo Centre
Tower Two
89 Queensway, Admiralty
Hong Kong
電話：+852.2918.8268
ファックス：+852.2918.8278

ドイツ
iPass (U.K.) Limited
Stiglmaierplatz/Dachauer Straße
37 (5.0G)
80335 Munich
ドイツ
電話：+49 89.54.55.8.120
ファックス：+49
89.54.55.8.333

日本
iPass Japan Inc.
〒100-0005
東京都千代田区丸の内 1-3-1
東京銀行協会ビル 15 階
電話：03-3216-7266
ファックス：+81 3.3216.7281

シンガポール
iPass Asia Pte Ltd.
7 Temasek Boulevard
#23-02 Suntec Tower One
Singapore 038987
電話：+65 6334.8783
ファックス：+65 6337.033